

月報	日本キリスト改革派 横浜中央教会	5月号 2013年5月19日
----	---------------------	-------------------

東部中会教育委員会の活動

K.T

私たち横浜中央教会が所属している東部中会の中にある教育委員会の活動をご紹介します。この教育委員会の組織は、委員長が江古田教会の風間義信先生、その他の教師はせんげん台教会の浅野正紀先生・恩寵教会の千ヶ崎基先生・山梨栄光教会の村手淳先生・田無教会の安田直人先生・羽生栄光教会の村田寿和先生・大木信教師候補者・尾崎淳教師候補者、その他横浜教会の杉山望長老・恩寵教会の福井昭一長老と牛島智子執事・上福岡教会の古澤純一長老・今年度から湘南恩寵教会の高橋乃亜長老が加入しました。このメンバーの中から教師が中心となって教会教育研修会部門やバイブルキャンプ部門、学生会部門や青年会部門、修養会部門など5つに分かれていきます。

*教会教育研修部門・・・11月の第2日曜日の午後の集会の計画と実施。

*バイブルキャンプ部門・・・サマーバイブルキャンプ（山中湖）

春の中高生キャンプ（奥多摩福音の家）

*青年会部門・・・クリスマス会・冬期修養会・春期修養会・夏期修養会・祈りと学び会。
機関誌のアルパオメガ、カナンの発行。

*修養会部門・・・東部中会信徒修養会（今年は9/16 さいたま市文化センター）
2014年東北・東部・東関東三中会合同修養会

*学生会部門・・・学び会、東部東関東合同夏期修養会、青年会合同ボーリング大会、クリスマス会、新年会、キックオフパーティー、全国学生会修養会など

以上のような行事の計画と実施、あるいは参加を担当しています。キャンプや修養会を通して、若い信徒や求道者がより交わりを深く持ちながら、聖書のみことばに触れ、信仰の成長と親交を深めていけるよう考えています。これらの会議は平日の夜の6時半から始まり10時を超える時もあります。この活動をどうぞ覚えてお祈りください。

さて、私は教会教育研修部門とバイブルキャンプ部門に所属しています。今年度のバイブルキャンプ（山中湖トーチベアラーズ）は8月20日～22日です。小学校5年生から高校生までが参加できますので、ぜひ参加してください。きっと新しい出会いや発見があると思います。昨年はN.M君とM.H君が参加してくれました。また、11月10日に行われる教会教育研修会ですが、この3年間は大人の参加者が100名前後で子供を合わせると140名ほどとなっていて大盛況です。今年も昨年同様、子供礼拝と分級、大人の4つの分科会を行うことになりました。分科会ごとにテーマを絞って発題と分かち合いを行う予定です。（担当は杉山長老、高橋長老、河西です）子供から大人までどしどしご参加ください。どうぞよろしくお願いたします。

「我が家にワンコがやってきた」

U, E

去年 12 月半ばから柴犬を飼い始めました。

飼い主の責任の覚悟はしていましたが、何事も経験してみても初めてわかることはよくあること。

しつけが上手く行かず行き詰まった気持ちになることもしばしば。

相手は生き物、こちらの思い通りには行かないことは当然ですね。

ですが、出会ってから 5ヶ月が過ぎようとしている今、少しずつ光が見えてきました。しつけ教室や飼い方を自分なりに調べたこともありますが、一番感じていることは、ワンコに強いるばかりでなく、ワンコが楽しいと感じる経験を増やすことが良かったと思います。

やりたい放題はさせませんが、なるべく好きにさせているうちにワンコにも気持ちがあるのだなとわかってきました。

さて、そんなワンコとの生活から得たものがあります。

ワンコ(犬)と一緒にしてはいけないでしょうか？人間関係も同じだなと感じています。

私には 21 歳になる継子(娘)がいます。

子育て経験が無かった私は、結婚当初 12 歳だった彼女を叱るばかりで無理やり言うことを聞かせていました。正しいことを言っているし間違っていないと思っていた私はやり方を変えずにいました。

結局上手く行かず反抗されどんだ彼女は何も言うことを聞かなくなり悩みの種でした。

それから何年も経ち、彼女も悩んだのでしょうか。

家を飛び出して物理的にも少し距離を置いた関係になり、お互いを無理に意識しないで良い関係になりました。

もう私のことなんか嫌いだろうと思っているのですが、何かイベントがあれば声を掛けます。意外なことに喜んで？参加します。イベント等が終わればさっさと帰ります。

そっけない感じですが、声を掛けてもらいたいのだなーと何となく感じます。

ワンコ同様、小さい頃彼女の気持ちに沿って付き合っていけばもっと良い関係になれたのに、と少々後悔しています。でも過ぎたこと。

今からでもゆっくり良い関係になれればもうけものと思わず思っています。

日々、後悔することや失敗はたくさんありますが、時間が経ってみて見つける宝物もあります。ゆっくり考えれば良い、これもワンコから学んだことです。

壮年会での学び

k.R

今年度の壮年会では石丸新先生の“聖書生活のいのち”(聖恵授産所出版部)という著書を題材としています。前回の壮年会では“第一章 神の言葉の力、二節 信じる者の中に働く力”を学びました。そこでは“テサロニケの信徒への手紙一 二章一三節”から以下の文章が引用されています。

-わたしたちから神の言葉を聞いたとき、あなたがたは、それを人の言葉としてではなく、神の言葉として受け入れたからです。

当時は識字率も低く、伝道は主に耳で聞く事となされていたと思います。そのような環境であっても神の福音が伝わり広まっていた事に驚きと神の偉大さを感じました。

現代は情報やその伝達手段が豊富にありますが、その多少が問題ではなく、神の御言葉を受け入れる本人の姿勢、心構えが大切であり、表題にある通り“信じる者の中に働く力”が存在する事を学びました。

2011年のクリスマスから教会に通い始め、今まで数々の説教を聞いてきましたが、その全ての神の御言葉を受け入れたかと言われると回答に貧窮します。

私事ですが、今年夏から海外での生活が始まる予定です。そこでは日本での生活に比べたら聖書と向かい合う時間が増えそうです。少しでも多くの神の御言葉を受け入れる事が出来るよう“信じる者の中に働く力”を高めたいと思います。